

特集

「社会で活躍する東邦生」
「同期会・支部会・OBOG会」

東邦の未来

東邦会報
【題字揮毫:下出保雄元理事長】
令和7年(2025年)10月1日
発行:東邦会

〒465-8516
名古屋市名東区平和が丘3丁目11
TEL:052(782)1171
FAX:052(782)7151
ホームページ:https://tohokai.com
メールアドレス:info@tohokai.com

第61号

各種イベントのご案内

中学生を対象としたオープンキャンパスや展覧会など、東邦高校の活気を感じられるイベントが盛りだくさん! 詳しくは東邦高校ホームページをご覧ください。

これから東邦高校への進学をお考えの、ご子息、ご息女、お孫さんにもぜひお勧めください。

【学校説明会】

10月4日(土)・10月11日(土)
※要インターネット事前申込

【中学生英語プレゼンテーションコンテスト】

10月26日(日)
※要インターネット事前申込

【美術科 中学生秋期講習会】

11月15日(土)
※要インターネット事前申込

【在校生によるギャラリートーク】

会場 愛知県美術館 8階ギャラリー
12月21日(日) 午後1時~ 予約不要

【美術科 卒業制作展】

会場 愛知県美術館 入場無料
12月17日(水)~12月21日(日) 午前10時~午後6時
※最終日は午後4時終了

第33回東邦高等学校美術科卒業制作展「未来の芸術家たち展」を、2025年12月17日から12月21日まで愛知県美術館8階Jギャラリーにて開催いたします。展覧会の名称「未来の芸術家たち展」は、平成5年に始まった最初の卒業制作展(普通科美術デザインコース1期生)から継承されており、生徒達に「未来の芸術」の担い手であってほしいという願いから名付けられました。作者はこれまでの集大成として制作意図と表現の一体を求め、高校3年生の今にしか作れない卒業制作の完成を目指してまいりました。最終日12月21日13時より、作者によるギャラリートーク(予約不要)を予定しております。期間中ぜひ会場にご来場の上、感性あふれる作品をお楽しみいただければ幸いです。これまで卒業制作展の開催が途切れることなく迎えられたのは多くの皆様のご支援あってのことです。心よりお礼申し上げます。

第33回 東邦高等学校
美術科31期生 卒業制作展
未来の
芸術家
たち展
2025
12/17(水) 12/21(日)
10:00~18:00
※最終日は16:00終了
愛知県美術館
8階 J1.2ギャラリー
入場無料
在校生によるギャラリートーク
12/21(日) 13:00開始予定
詳細は本館ホームページをご覧ください
愛知県美術館
〒461-8525 名古屋市東区東区1-13-2
TEL:052-971-5511 (代)
※地下鉄東山線・名鉄線「東」駅下車 徒歩3分
※名鉄東山線「東」駅下車 徒歩2分
東邦高等学校
〒465-8516 名古屋市名東区平和が丘3-11
TEL:052-782-1171 (代) FAX:052-782-7151
http://www.toho-h.ed.jp

東邦会ホームページ

マイページへのアクセス手順 ※スマートフォンからもご利用いただけます。

1. 東邦会トップページ(<https://tohokai.com/>)の右上の「ログイン」アイコンからログイン(スマートフォンの場合は左上のログインボタン)

2. 「新規利用申請はこちら」から、メールアドレス、卒業年度、氏名、旧姓、3年の時のクラスを入力してください。
なお、以前に東邦会の会員番号でログインされた方も、再度メールアドレスのご登録を頂き、マイページにログインするお手続きをお願いいたします。



スマートフォン



ごあいさつ

東邦会 会長
大河哲男

親愛なる東邦会会員の皆様、お元気ですか？

皆様におかれましては、お変わりなくお過ごしのこととお喜び申し上げます。平素より、東邦会の活動に対し格別のご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

本年も、皆様と母校への深い愛情を分かち合いながら、心と心のつながりを感じつつ、日々活動を続けております。また会員の皆様が各界でご活躍されている様子を耳にするたびに、大変うれしく、誇らしい思いでおります。今後は、会員の皆様と母校の情報をもより一層共有することで、皆様同士の絆がさらに深まり、東邦会の輪が一段と広がっていくことを願っております。

その一助として、ぜひ東邦高

校のホームページの「NEWS & INFORMATION」を時折ご覧いただき、学校・学業・クラブ活動など、母校の元気な様子をご確認いただければと存じます。

母校への距離感がより身近に感じられ、皆様の母校愛がいつそう深まってまいります。

今後とも、皆様のご支援とご協力を賜りながら、より充実した活動を進めてまいります。

皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げますとともに、引き続きご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



ごあいさつ

東邦高等学校校長
藤本紀子

東邦会の皆さま、日ごろは東邦高等学校の教育にご理解とご協力、そしてあたたかいご支援をいただき、誠にありがとうございます。

さて本校では今年度、「世界探究科」がスタートいたしました。二〇二〇年度発足した普通科「国際探究コース」の方向性を大切にしながら、学科としてより高い専門性をもった「地球規模の課題解決に志を持って臨む人材」を育てたいと考えております。今後は普通科、美術科、世界探究科の三学科それぞれが互いに刺激と影響を与え合い、東邦高校全体がより活性化することを楽しみにしている次第です。

また、今年度の行事面では、これまで九月に文化祭と連続して実施していた体育祭を七月に移動し、パンテリンドームで全校挙げて開催いた

しました。熱中症や天気心配をすることなく、全校生徒で一日中体育祭を楽しむことが出来ました。生徒の皆さんの笑顔が満開で、私たち教職員にとっても嬉しい一日となりました。生徒の皆さんの運営、協力も素晴らしく、その姿はまさに「自分で考え自ら行動する生徒」という本校の目指す生徒像そのものでした。

そして、東邦会の皆さまのご支援をいただいで全校生徒のピブスを揃えることができましたことに、生徒ともども感激しております。この場をお借りして深く御礼申し上げます。これからも新たな事に挑戦し続ける東邦高校でありたいと思います。今後ともあたたかいご支援を賜りますよう、何とぞよろしくお願い申し上げます。

東邦会役員 令和7年度～任期2年

- 会長 大河 哲男 (高29回)
- 副会長 宮地 和徳 (高29回)
- 〃 井島 規夫 (高37回)
- 〃 兼松 暁子 (高39回)
- 〃 江口 勝義 (高41回)
- 〃 浅井 貴光 (高42回)
- 幹事長 伊藤 保憲 (高47回)
- 副幹事長 濱地 香理 (高42回)
- 〃 水野 映里香 (高42回)
- 〃 池田 暁生 (高50回)
- 〃 加藤 広士 (高54回)
- 〃 野崎久美子(教 頭)
- 事務局長 袴田 克彦 (高41回)
- 会計 貫名 正樹 (高47回)
- 監事 森田 泰弘 (高29回)
- 〃 石塚 慎吾 (高40回)

学校への援助金 100万円贈呈

東邦会はこれまでも母校発展のために様々な支援を行ってきました。今年度も教育活動支援として、代議員会の席上で大河哲男会長から藤本紀子学校長へ100万円を寄贈しました。

生徒会への援助金 30万円贈呈

代議員会の席上で、生徒会への援助金として30万円を贈呈しました。クラブ活動支援、文化祭など諸行事支援、機関誌発行など、後輩たちの活動が円滑に運営されるように東邦会もサポートしています。

同窓会とPTAから 卒業生(第76回)への記念品

2024 (令和6) 年度は、校章入りのモバイルバッテリー、卒業証書を大切に保管するためのホルダーを卒業記念品として贈呈しました。また東邦会入会式では、卒業アルバムなどを持ち帰ることもできるオリジナルトートバックを寄贈しました。なお、第76回卒業生からは母校と後輩たちのために熱中症予防イベントで活用するための大型テントを寄贈していただきました。



～ 親子三代で東邦高校から甲子園出場の快挙 ～

本校卒業生石塚真人さん(高校第13回卒業)、石塚慎吾さん(高校第40回卒業)、石塚郷さん(高校第69回卒業)から甲子園出場メダルなどが寄贈されました。親子二代での甲子園出場も立派なことですが、親子三代でかつ同じ高校から甲子園に出場となると、全国的にも大快挙といえます。今回、それを成し遂げた石塚さんから出場記念メダルなどが東邦会に寄贈されました。二代目の石塚慎吾さんの保有メダルには、甲子園での準優勝メダルもあり、ひと際大きくなっています。親子三代の記念写真とともに、メダルの写真を公開します。



また石塚さんの歴史的なこの偉業は、東邦学園100周年記念イベントでも紹介されました。盛大に開催された100周年記念式典の手土産には、石塚さんが引き継いでいる餅文総本店の銘菓「名古屋ういろ」がこのエピソードを添えて用意されたのです。初代餅屋文蔵が名古屋で商いをはじめたのは360余年前のこと。今でもその製法を守りながら、その風味を絶やすことなく多くのファンに商品が届けられているのです。

ちなみに石塚郷さんにはお子さまが誕生し、真人さんは曾祖父、慎吾さんは祖父になっています。いつの日か親子四代で同じ高校から甲子園出場というニュースがかけめぐることを期待してしまいます。餅文総本店も東邦学園も石塚家も、確かにその伝統が脈々と次の100年、200年に向けて引き継がれています。



～ 美術科卒業生の作品が 沖縄の高級リゾートホテルに収蔵展示 ～

本校卒業生杉山遥香さん(高校第66回卒業:美術科)の快挙です。杉山さんの沖縄県立芸術大学学部卒業制作となる日本画作品が、「カヌチャリゾート沖縄」に収蔵されました。



「すべてのものたちへ」
(1818×2273mm)2024年
麻紙、膠、岩絵具、箔
北中城村文化協会賞 受賞

『真に美しいもの』をテーマにした作品。美しいものを探し続ける私が見つけた、真に美しいものの一つが愛。飛躍や勝利、幸福の象徴である馬に、この美しいものを乗せてこれからも探し、描き続けていくという想いを込めています。

※卒業生の皆さまもカヌチャリゾート沖縄にお出かけの際は、是非ご覧ください。

～ 日本のソムリエ最高賞を授賞 ～

本校卒業生伊藤寿彦さん(高校第43回卒業 旧姓:武藤寿彦)から、東邦会に嬉しい報告が届きました。以下、ご報告を抜粋して紹介させていただきます。

2025年3月17日パレスホテル東京【葵】にてソムリエ最高賞を授賞。これは世界の二大巨頭レストランガイドブックの一つ、世界17カ国で刊行されている「ゴ・エ・ミヨ(Gault&Millau Japon2025)」の授賞式でのことです。ゴ・エ・ミヨへの掲載は最難関とされる最高峰のレストランガイドブックです。その中で個人最高賞『ベスト ソムリエ賞 (最優秀ソムリエ賞)』の評価となります。



伊藤氏の紹介は「現代におけるソムリエの象徴と言える御一人である」という内容でした。

日本では極めて珍しいワインディレクターという仕事。一つの店舗に所属するのではなく、全国のあらゆるジャンルの高級レストランの飲料リスト、ペアリングメニューなどを監修し、スタッフの教育、育成も行います。またBGMの選定、テーブルセッティングのスタイルまで提案するソムリエだそうです。

引き続き、新しいソムリエの形を提案し、後輩、人材の育成に寄与されるよう期待されています。



2025年度 代議員会報告

～18歳から94歳までの代議員が一堂に会し、
本校卒業生で現役国会議員による感動の講演会も開催～

2025年5月24日(土)、名古屋ガーデンパレスにおいて東邦会代議員会が開催されました。東邦会では毎年各世代を代表する卒業生で構成される代議員会を開催しています。また5年に一度は記念総会という形式で、全卒業生にお声がけしています。

さて、今回の代議員会は、伊藤幹事長の司会進行のもと、まずは会の冒頭で、お亡くなりになった諸先輩方や恩師のご冥福をお祈りし、一分間の黙祷を捧げました。そして、大河会長による開会の挨拶では、100周年イベントという大きな節目は終えたものの、さらに次の100年に向けての母校への期待と、同窓会組織が一丸になって支援していきたいという力強い宣言が込められました。



続いて、学園を代表して榊理事長が挨拶され、東邦高校の平和教育への取り組みが行政をも動かしたことが紹介されました。名古屋市では、5月14日を「なごや平和の日」として制定しましたが、これは長年にわたる東邦高校の生徒会活動がきっかけになったとのこと。さらには、「なごや平和の日」を題材とした長編映画が上映されることになったっており、その舞台が東邦高校であるとの情報が展開されました。

次に、藤本校長先生からは、母校の近況について報告されました。今年度は愛知県内で唯一の学科となる「世界探究科」の第一期生を迎えました。これまで普通科の中で国際探究コースを運営していましたが、この教育成果を次のステップに繋げるための取り組みとなります。その



他クラブ活動での後輩たちの活躍や様々な教育改革についても述べられ、会場は大きな拍手に包まれました。

代議員会の議事進行は大河会長が務め、2024年度の事業報告および決算報告が承認されました。さらに2025年度の事業計画案や予算案など、全ての議案も滞りなく承認されました。その後、今年度から赴任した新人教員の紹介があり、代議員からは母校の発展のために大きな期待の拍手が送られました。さらに6月から母校で教育実習を開始する現役大学生らも、この代議員会には実習の一環として参加していました。

代議員会が終了した後、現役国会議員(衆議院議員)であり、東邦高校第57回卒業生の日野紗里亜(旧姓:橋本紗里亜)氏の記念講演会が開催されました。題目は「母校の期待と誇り〜日本の将来のために〜」です。日野さんは東邦高校時代、空手道部に所属しインターハイにも出場した実力者です。大学卒業後は福祉の仕事などをしながら、四人の子育てをしていました。上に女の子、さらに三つ子の男の子

を育てているパワフルママです。2024年10月に実施された第50回衆議院選挙で、愛知7区(大府市、尾張旭市、豊明市、長久手市、東郷町)から初めて立候補し見事に当選。国民民主党からの公認候補でしたが、何よりも日野さんの人柄に魅力を感じた大勢の仲間が集まり、手作りの選挙戦を戦い、地盤も資金も知名度もない初出馬にも関わらず、最終的には圧倒的な支持を得て当選されたのです。その日野さんの講演は、三つ子を含めて四人の子供を育てる日常の苦労や感動。



そして国会議員に立候補するきっかけになった出来事。多くの出会いと感謝の気持ち。もちろん、母校での思い出も当時の写真とともに紹介されました。

今回はこの講演会を目標での参加していただいた若い女性卒業生も多かったようです。軽快なおしゃべりと情熱的で心のこもった感動的な講演となり、参加者からは「自然と涙が溢れてきた」「こういう方ならこれからも応援したい」「是非一緒に写真を撮りたい」という声が聞こえてきました。日野さん自身もこの日の出来事をSNSで発信されています。以下はその一部です。『本日は母校の東邦高校で大変貴重な講演の機会をいただき

ました!大河会長、榊理事長をはじめ、先輩方や参加された皆様に心から感謝いたします。母校の皆様と過ごす時間は特別で、胸がじんわりあたたかくなるひとときでした。これからも原点を大切に、志を胸に進んでまいります。一緒に過ごさせていただいた皆様、本当にありがとうございました。(日野さりあインスタグラムより)』

最後は会場をうつつして懇親会を開催しました。講演者の日野さんも残ってください、多くの方と記念撮影や談笑をされていました。また、愛知東邦大学の吹奏楽団による生演奏も披露されました。この吹奏楽団は、東邦高校卒業生が多く、活気にあふれるその音楽は大注目されていました。

会場には、たくさん料理や飲み物が用意され、皆さん大満足でそれぞれ帰路につきました。大勢の恩師や世代を超えた東邦生の集まりは、いつでも「あの頃」に戻れる素敵な日になります。今回も18歳から94歳までの幅広い卒業生が一堂に会しました。代議員会は原則、学年やクラスを代表する卒業生にご案内していますが、基本的にはどなたでも参加できる催しです。来年度以降、ご都合のつく方は是非ともご参加ください。



株式会社 カワタ金属

代表取締役 大河 哲男
(高29回卒)

〒476-0012 愛知県東海市富木島町伏見二丁目19番地の13
TEL(052)604-2708 FAX(052)603-3470

車検・点検・修理・钣金/塗装・中古車・タイヤ・ホイール

名豊モータース

〒476-0012 愛知県東海市富木島町伏見二丁目19番地の13
TEL(052)603-3451 FAX(052)603-3788



2024年度の活動を終えて

吹奏楽部

顧問 松瀬 光

吹奏楽部は2024年度、日本管楽合奏コンテスト高校生A部門において全国大会に出場しました。日本管楽合奏コンテストには、2018年に初めてエントリーして以来、エントリーしたすべての年で全国大会に出場しています。2024年度は優秀賞の受賞に加え、1校だけに贈られるヤマハ賞を初めて受賞することができました。部員一同、非常に嬉しく、また誇らしく感じております。吹奏楽コンクールでは県大会に出場し、金賞を受賞し、代表選考会に出場しました。

また、6月16日(日)に中村文化小劇場で第66回定期演奏会を行いました。クラシックや親しみやすいポップスを披露し、多くのお客様にお楽しみいただくことができたと思います。

私たち吹奏楽部は生徒たちの学業と部活動の両立を重視しながら活動しています。これからも生徒たちの成長と、私たちの演奏を聴いて下さるすべての方々に心に残る良い音楽をお届けすることができるよう練習に励んで参ります。



水泳部創部100周年記念大会開催

水泳部

顧問 山田 琴絵

水泳部は2025年に創部100周年を迎えました。この記念すべき節目を祝い、去る6月1日(日)に東邦高等学校水泳部創部100周年記念sprint swim battlesを日本ガイシアリーナにて開催いたしました。多くのスイミングクラブや中学、高校の皆さま総勢600名を超える選手にご参加

いただき、競技会を開催し、たいへん意義深い1日となりました。

7月に行われた東海高等学校総合体育大会にて、男子1500m自由形(2年佐藤笙)と男子4×100mメドレーリレー(3年秋田陸玖・3年佐藤亨祐・2年森本新大・2年源口奏惟)でインターハイ出場を決めることができました。また飛込競技でも1年金箱琉海が高飛込、飛板飛込ともにインターハイ出場を決めています。インターハイは8月に広島県にて開催されます。競泳も飛込も納得のいく結果を出せるように頑張っていきます。

100年という歩みの重みを胸に次の100年に向けて、努力を重ねていきますので、今後とも変わらぬご支援、ご声援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

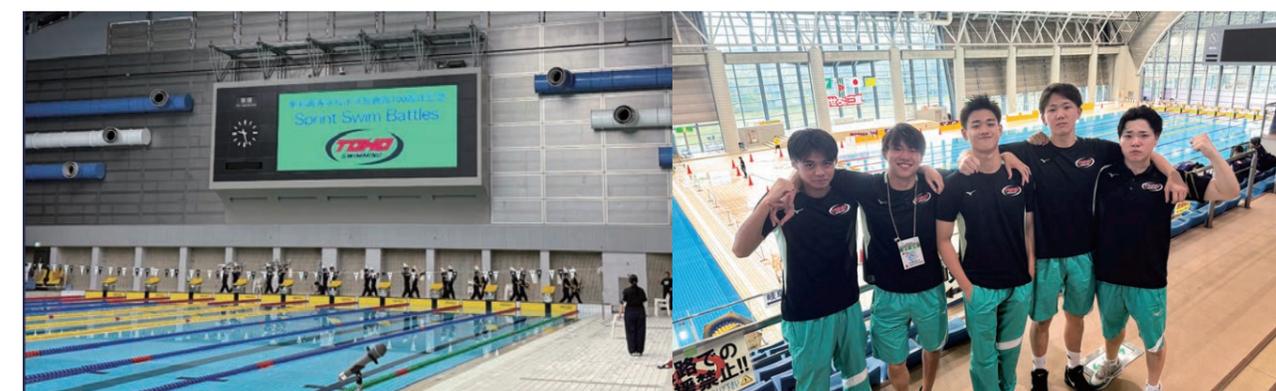
仲間とともに次の高みへ

アーチェリー部

顧問 齊藤 卓哉

第43回全国高等学校アーチェリー選抜大会が2025年3月末に開催され、1年生(現2年)の木村研斗が出場しました。木村選手は中学校時代から地域のアーチェリークラブで経験を積んできており、本校初の1年生での選抜出場となりました。悔しさの残る結果でしたが、全国の舞台での経験が、今年度の第72回東海高等学校総合体育大会での好成績につながりました。

今年度は石上雄翔・小西凜久とともに団体を組み、男子団体で4位に入り、本校として初の快挙を成し遂げました。さらに、3年の平松優志・小澤亜矢乃・加藤心優が個人枠で出場し、過去最多の東海大会出場者数となりました。彼らの奮闘は仲間にも良い刺激を与え、部全体の士気も高まっています。



全国高等学校ダンスドリル選手権大会2025を終えて

ダンス部

顧問 秋山 愛斗

普段よりダンス部の活動に、ご協力・ご声援をいただき、ありがとうございます。

今年は、全国高等学校ダンスドリル選手権2025に女子HIPHOP部門が東海大会を通過し、出場することができました。結果は受賞することはできませんでしたが、全国の舞台を経験し、また全国の強豪校の演技を見て多くの刺激を受けて次の活動に進むことができました。

本番までに向かう姿勢は、それぞれの課題を抱えながらもダンス部の目標でもある「One for all, All for one」を意識し、部員全員が互いを支えあいながら練習をすることができました。さらに大会会場では、演技だけでなく、出場校の選手たちが互いに本番を応援しあい、改めてダンスの本質を実感することができました。

本番では、今まで応援して下さった全ての方の想いを背負い、最高の演技でやりきることができました。

今後は、3年生は引退し新体制に入ることとなります。先輩方の意志を受け継ぎ、新しいダンス部を作り上げていきますので、今後ともご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



空手道部活動報告

空手道部

顧問 二村 智代

いつも空手道部の活動にご支援いただきましてありがとうございます。空手道部は昨年度末の3月に和歌山県で開催されました全国高等学校空手道選抜大会に男子団体組手、男子個人組手-68kgに土屋太地が出場致しました。男子団体組手は3回戦まで勝ち抜きベスト16という結果を出すことができました。目標であった入賞まであと1つ届きませんでしたが全国大会で勝つ喜びを感じることができたと思っております。男子個人組手-68kgでは土屋太地が1試合ずつ勝ちを重ね5位入賞しました。

現在、今年度のインターハイ予選を勝ち抜き、8月に岡山県の倉敷市で開催されますインターハイに挑みます。全国選抜大会以上の結果を出せるように、さらに練習を積み重ねていきたいと思っております。今後とも空手道部の応援よろしくお願いいたします。



一 大学合格状況

2025年度入試の国公立大学現役合格者は38名でした。名古屋大学、名古屋工業大学、愛知教育大学、愛知県立大学、愛知県立芸術大学、名古屋市立大学など、県内の大学を中心に合格が出ました。また、大阪大学の合格もあり、旧帝大複数名の合格は大きな成果であったといえます。文理特進コースや文系選抜・理系選抜コースや美術科などを中心に合格を果していますが、今年度は進学コースからも2名の合格がありました。合格数は2024年度入試の32名よりも増加しました。在籍数が多いこともありますが、高い目標に対し、積極的に挑戦する姿が見られました。

地元私立大学の合格は1174名、2024年度入試の732名から増加しました。要因として、在籍数の増加(527名→725名)が挙げられます。また、総合型選抜や公募制推薦の年内入試が人気となり出願数が伸びたとともに、合格数が伸びたと考えられます。多くの私立大学が学生確保のため、年内入試から合格を多く出す傾向にあります。

向にあります。

東部私立大学は126名の合格。西部私立大学は118名の合格。2025年度入試は2024年度入試と比べ、東部・西部地区の合格者がともに大幅に増加しています。地元・東部・西部すべてで共通テスト利用、併用の合格数が伸びています。年内入試の合格数を増やす一方で、共通テストをしっかりと受験する学生を確保したいという大学が多いのではないかと推察します。東部・西部地区で合格した大学は、東部私立大が東京理科大学、明治大学、青山学院大学、立教大学、中央大学、法政大学、学習院大学、成蹊大学、日本大学、駒澤大学、東洋大学、順天堂大学、多摩美術大学など、西部私立大が同志社大学、関西学院大学、立命館大学、関西大学、近畿大学、龍谷大学、京都産業大学、立命館アジア太平洋大学などです。今年度も全国区有名私立大学に多くの生徒が合格しました。

●国公立大学 38名(現役のみ)
名古屋1、名古屋工業1、愛知教

育4、愛知県立5、愛知県立芸術2、名古屋市立3、岐阜3、信州1、静岡2、室蘭工業1、筑波1、茨城1、埼玉1、富山1、福井1、大阪1、琉球2、富山県立3、長野1、都留文科1、岡山県立1、尾道市立1。

●地元私立大学 1174名
(現役のみ)

南山71、愛知66、名城86、中京152、愛知学院93、愛知淑徳126、名古屋外国語43、金城学院31、椋山女学園46、名古屋芸芸22、愛知工業50、大同36、愛知東邦48、中部65、愛知医科10、東海学園15、名古屋学院67、名古屋芸術10、名古屋造形6、日赤豊田看護31、岐阜聖徳10など

●東部地区私立大学 126名(現役のみ)

東京理科1、明治1、青山学院2、立教1、中央1、法政8、学習院1、成蹊2、日本2、東洋12、駒澤5、専修14、玉川2、順天堂1、昭和薬科2、武蔵野美術1、多摩美術1など

●西部地区私立大学 118名(現役のみ)

同志社5、立命館23、関西学院7、関西1、近畿11、龍谷15、京都産業16、同志社女子6、関西外国語3、福

一 就職状況

昨年度、学校紹介での就職希望者は1名で、希望の就職先に決定することができました。また、公務員の就職希望は1名で無事に就職することができました。合計で2名の生徒が就職しました。

毎年多くの求人を見つけて活躍する企業から頂いております。この場を借りて御礼申し上げます。今後ともご支援いただきますようお願いいたします。

一 学校人事

定年退職(令和7年3月31日)
(引き続き再任用教員などで勤務していただきます)

家庭科教諭 久保久枝先生
国語科教諭 川邊雅志先生
保健体育科教諭 船水昭宏先生

おくやみ

青木茂先生 令和7年1月27日 永眠
羽澄貞夫先生 令和7年2月22日 永眠

東邦会入会式

高校第76回卒業生を迎える東邦会入会式は、2月25日に体育館で挙行されました。この学年は県内最大の20クラス体制での運営でした。大河哲男同窓会長は、700名を超える卒業生に対して、心から同窓会への入会を歓迎するというエネルギー溢る挨拶を述べられました。加えて今後の東邦会を共に盛り上げてほしいという要請もありました。東邦の同窓会組織は100年の歴史を持ち、社会にでると必ず助けてくれるというエピソードも添えられました。その後、伊藤保憲幹事長が東邦会の意義や行事などを説明し、母校への支援についても協力を求めました。



さらに生徒会活動などで母校に貢献した卒業生には「東邦会賞」が贈呈されるとともに、卒業学年を代表して代議員に選出された卒業生(1クラス代表2名)には代議員証が手渡されました。



安全・安心・信頼へと繋ぐサービスを!

お客様の車両の運行、管理、メンテナンス、事故対応など、車両に関するあらゆる業務を担当いたします。社内の車両運行・管理部署がまるごと社外に存在するようイメージです。従業員送迎バス、スクールバス、テレビ局のロケバス、空港のランプバス、公用車など、多種多様な形態に対応可能です。多数の大手企業さまや学校法人さま、官公庁と取引実績がございます。また、すでにお客さまが所有されている車両の運行・管理だけでなく、購入、リースといった車両の手配もサポートいたします。幅広い業者と提携しているため、低コストでご要望に応じた車両のご用意が可能です。日々の運行・管理はきちんと教育を受けたスタッフが担当いたします。交通ルールはもちろん、防衛運転や危険予知のトレーニングを積んだプロの乗務員が、乗客の方の安全と安心を第一に考えて日々の業務にあたります。乗客の方を「自分の家族」だと思って運転し、車両も常に清潔にして「マイカー」と同じ気持ちで大切に扱います。

送迎業務を見直しませんか! お客様のお車を運行管理致します。

送迎に関することなら何でもお任せください!

0120-01-0808

役員車・大型バス等の運行管理請負業務

株式会社スターロードシステム

代表取締役 井島規夫

本社 愛知県豊明市掛旗町丘下12-1 ユニオンビルズ丘下2F TEL:(0562)57-4401 FAX:(0562)91-6901	北海道支店 北海道千歳市千代田町5-1-3 アセットプランニング千歳ビル1-CA号室 TEL:(0123)25-9280 FAX:(0123)25-9281
東北支店 宮城県多賀城市八幡2-6-11 SSビルⅢ 3F TEL:(022)794-7924 FAX:(022)794-7925	岩手営業所 岩手県釜石市大字平田3-75-1 釜石大砲地域産業育成センター内 TEL:(022)794-7924 FAX:(022)794-7925
千葉支店 千葉県木更津市太田4-20-8 HATANOPIA-1 3F 西 TEL:(0438)40-4861 FAX:(0438)40-4869	三重営業所 三重県津市栄町2-406 アーバンKEN-B4 TEL:(0562)57-4401 FAX:(0562)91-6901
関西支店 兵庫県神戸市東灘区甲南町3丁目8-1 甲南81ビル3F TEL:(078)862-5503 FAX:(078)862-5504	福岡支店 福岡県久留米市御井町494-10 2F TEL:(0942)80-9000 FAX:(0942)80-9090
	熊本営業所 熊本県合志市機久重1909-678 ASFORT 2F 102号室 TEL:(0562)57-4401 FAX:(0562)91-6901

グループ会社



全国対応 0120-70-5050

高校12回卒 1年J組クラス会 (第15回)

まだまだ暑い令和6年10月10日、名古屋金山ホテル9階「かやかや」にて第15回「1Jクラス会」を開催しました。今回も羽澄先生は元気そうであるが出席がなわず残念である。次まで待とう。

東京都町田市から山口君、また東京都中野区から19年ぶり参加の長村君、本当にありがとう。他はいつものメンバーで10名の賑わいでした。

今回も懐かしい思い出話に花が咲きましたが、近況報告が大変!

電動シニアカーを購入し不便が快適になった小島君、また脊椎管狭窄症、心臓不調、呼吸器不調、などリハビリに通うのが日課のみんな。そうでなくても足腰の衰え、記憶力の衰えなど毎日が戦いです。

91才の羽澄先生、82才の我々はまだまだ若いもんだ!

快晴の一日、たっぷり2時間グチや悩みを言い合い、励ましあい、皆スッキリ!また来年のクラス会で元気よく会いましょう。

出席者 飯田修史 稲葉兆幸(記) 長村功 小島雅夫 野村勲 花井健夫 水野勉 水野信廣 山口貴弘 山本勝



東邦高校39期生 母校に帰る!

2024年10月13日、東邦高校・オーバルラウンジルームにて、39期生の同窓会を開催いたしました。当日は、50代となった卒業生約50名が集い、懐かしい顔ぶれとの再会に笑顔があふれる、心温まるひとときとなりました。

今回の同窓会の大きな話題のひとつは、私たちの卒業後に行われた母校の大規模な改装工事です。久しぶりに訪れた校舎は、私たちが通っていた頃の面影がほとんどなく、洗練された現代的な姿に様変わりしており、あちこちから「すごい!全然違うね」「ここ、本当に東邦?」と驚きの声が上がりました。しかし一方で、変わっていない「東邦らしさ」も随所に感じられ、懐かしさと新しさが同居する空間に胸が熱くなる思いでした。

和やかな歓談の中では、近況報告や当時の思い出話に花が咲き、当時の教室やクラブ活動の話に時間を忘れて盛り上がる場面もありました。

「卒業からこんなに経っても、あっという間に当時に戻れるね」そんな言葉が自然と交わされるのも、39期生のつながりの深さを感じさせるものでした。



今回の同窓会の準備ではもたつく幹事を支えて下さった実行委員の皆さまに心より感謝申し上げます。

そして、都合が合わず参加できなかった仲間たちとも、次回はぜひ再会できることを願っております。(ちなみに次回は還暦の年の予定です)

母校とともに、私たち39期生の絆も、これからさらに深まっていきますように。

(記) 第39期生同窓会実行委員長 兼松暁子(旧姓近藤)



支部だより

関東支部総会

2025年5月18日、東京の日比谷で関東支部総会が開催されました。幅広い年代の約30名が集結。名古屋から榊理事長先生、藤本校長先生もご来場して下さいました。

関東支部長で今年ご自身の部屋から横綱を輩出された大相撲の立浪親方の発声により会はスタート。立浪部屋のグッズが当たる抽選会などもあり、参加者たちは交流を大いに楽しみました。年代は様々でも東邦での思い出や近況を語り合いました。

会の終盤には東邦会の大河会長も挨拶され、「名古屋からは離れた関東で東邦生の活躍が何よりも嬉しい。これからも頑張ってください」と激励の言葉が。名古屋から離れた場所でもしっかりと東邦の絆を感じる暖かい会となりました。



(記) 松村智規

DOCODEMO + SERIES DOCODEMO + SERIES DOCODEMO + SERIES

もしもの時家族を守る防災グッズ

33rd 日刊自動車新聞 大賞 用品 2020

備えて安心の100回分!

災害トイレ
100回セット
21,300円(税込)

2人用防災セット **31,900円(税込)**

車載防災セット(C)
13,420円(税込)

乳幼児用車載防災セット
13,420円(税込)

DOCODEMO + SERIES DOCODEMO + SERIES DOCODEMO + SERIES

NATEC EMERGENCY

株式会社ナテック

代表取締役 永井良周(高42回卒吹奏楽部)

〒490-1205 愛知県あま市花正寺浦55 TEL:052-449-6222

防災グッズは単品でも販売しています!

詳しくはコチラ

バドミントン部 藤澤先生お礼会とOBOG会



写真後方左から43回生高柳智和、寺尾真一、柴垣明文
前方左から藤澤先生、岡本先生、49回生伊藤育代(旧姓吉田)、42回生吉次夏絵(旧姓田中)

2024年12月15日 名古屋酒場坊主にて、27年間顧問をしていただいた藤澤先生のご退職に伴い、お礼会とバドミントン部OBOG会を開催しました。顧問の岡本先生、OBOGメンバーとともに、懐かしい写真と話にあっという間の時間でした。2026年には岡本先生のお礼会を開催予定です。詳細はLINEオープンチャット「愛知東邦高校バドミントン部OBOGの会」で共有します。バドミントン部OBOGの方ご参加ください。



ソフトボール部 OOG会

船水先生、定年のお祝いに初期OGメンバー35人が参加

本年度で定年を迎える船水先生のお祝いの会が、3月2日東邦高校で行われました。春の柔らかな日差しを浴びながら、午前中は人工芝グラウンドでソフトボールを楽しみ、午後はオーバルランチルームで会食しながら、昔話に花を咲かせました。ソフト部名物、夏の「蒲郡合宿」での船水先生の厳しい指導・エピソードは、みんなの思い出に残っているようです。OGから「私たちは頑張りましたか?」の問いに「頑張りましたよ」と答える先生の微笑ましい姿は印象的でした。みなさんのおかげで、良いOG会になりました。

(記) ソフトボール部 元監督 櫻井秀樹



硬式野球部OB会

～49回目の甲子園出場に向け、総会・激励会を盛大に開催～

7月5日(土)ホテル名古屋ガーデンパレスにおいて、2025年度硬式野球部OB会総会を開催し、前年度の活動報告や現役野球部への支援体制について説明がされました。

総会終了後は、49回目の甲子園出場を祈願し、選手激励会を開催しました。コロナ禍でしばらく中断を余儀なくされていた選手激励会でしたが、昨年度からこの行事を再開させることができました。その昨年は勢いに乗り決勝戦まで勝ち進みましたが、惜しくも宿敵中京大中京に敗れ、あと一步のところまで聖地甲子園を逃しました。

その敗戦を目の当たりにした新チームは、選抜大会に向けてスタートしましたが、まさかの地区予選敗退。勝負の厳しさと伝統の重圧を感じながら、この夏に懸ける執念は、他の学年よりも強いかもしれません。

今回の激励会も、多くの参加者が集結しました。OB会を中心に保護者会や後援会にも参加をよびかけ、学園からは榊理事長、藤本校長、長沼監事にもお越しいただきました。また東邦会本部からは大河会長をはじめ役員の皆様をお招きし、現役選手へ激励のお言葉をいただきました。

山田監督の近況報告では、「新チームで挑んだ秋の大会は全く期待に応えられなかった。この夏はOB会の皆様に恩返しをしたい。選手たちの気持ちも最高潮に盛り上がってきた。甲子園出場と悲願である夏の全国制覇を目指したい。」という挨拶がありました。朝倉主将からは「秋の敗戦から自分たちの生活態度から見直しました。まずは清掃と整理整頓を徹底しました。その成果で春以降は野球の結果も出てきたので、必ず甲子園に行きます。」との力強い決意表明がありました。

さらに、生徒応援の中心的な存在となるマーチングバンド部の代表3名が会場に訪れ、選手達にメッセージを直接伝えまし



た。「昨年の決勝戦で敗れたとき、もっと応援の力をつけたいと思い、一年間練習をしてきました。県大会でも甲子園のアルプスでも日本一の応援演奏をします。私たちが甲子園に連れて行ってください。必ず一緒に夢を実現させましょう。」という激励があり、会場は大きな拍手で包まれました。

最後の締めは3年生野球部員の三輪君が務めました。彼はベンチメンバーではなく、県大会では応援団長を務めます。最後の夏にベンチ入りできなかった悔しさがありながらも、出場選手を全力でバックアップするという宣言がありました。野球部の指導者も全面的に信頼をおく彼のような存在は、チームには絶対に必要です。三輪君の先導により、「WE ARE TOHO!」という会場いっぱいの掛け声で締められました。

我々の母校は甲子園に通算48回出場、全国制覇5回、準優勝3回を誇る名門校です。野球部OBのみならず、5万人の卒業生の夢をのせて、いよいよ暑い夏がはじまりました。

現在OB会では、春に卒業祝としての記念品贈呈式、夏は総会と選手激励会、冬は現役選手とのOB戦が主な活動になっています。もちろん、甲子園出場時には特別な体制を組んで支援にあたっています。今後とも現役野球部ならびにOB会へのご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

(記) 硬式野球部OB会 幹事長 袴田克彦

名促 名古屋促成青果株式会社

代表取締役社長

杉 崎 一
(高44回)

〒450-0002 名古屋市中村区名駅四丁目15番2号
PHONE(052)586-1995(代) FAX(052)561-7190
www.meisoku.com

総合リサイクル企業
坪井金属株式会社

総務部部长 水野 映里香 (高42回卒)

〒485-0826 小牧市大字東田中宇東嶋2057番1
TEL 0568-73-9141 FAX 0568-73-9158

E-mail : t-k@tsuboi-k.co.jp
URL : http://www.tsuboi-k.co.jp



東邦学園100周年事業募金

[東邦学園創立100周年事業 募金要項]

- ◆募金目標額 5億円
- ◆募金の主な用途 教育環境整備、施設設備の充実、学生・生徒の教育活動への支援

◆お申込期間・金額

【東邦学園創立100周年記念募金】 いよいよ2026年3月末日まで

個人:1口 5千円、法人:1口 10万円

複数口のご協力をお願い申し上げます(1口未満のご寄付も有り難くお受けいたします)。

◆お手続き・申込方法

【申込方法】

(1) Webによるお申込み

学校法人東邦学園のホームページにある「Webでのお手続きはこちらから」の専用入力フォームからお申込みください。

(2) 書面によるお申込み

寄付申込書に必要な事項をご記入の上、同封の返信用封筒でお申込みください。

寄付申込書がお手元がない時は、次のいずれかをご利用ください。

- ①愛知東邦大学、東邦高等学校のホームページより印刷
- ②メールにて請求:bokin@aichi-toho.ac.jp
- ③お電話にて請求:052-782-1954

【振込方法】

振込用紙に必要な事項をご記入の上、下記取扱金融機関からお振込みください。

募金取扱金融機関	支店名	口座番号	口座名義
ゆうちょ銀行	全国	00860-8-91058	学校法人東邦学園
三井住友銀行	一社支店	(普) 0144818	
三菱UFJ銀行	星ヶ丘支店	(普) 0010361	

◆芳名録の作成・ご芳名の発表

ご寄付を賜りました方々のご芳名は学園Webページの「芳名録」欄に掲載し、未永く学校法人東邦学園の歴史に留めさせていただきます。なお、匿名希望の方は掲載いたしません。



募金に関する学園Webページ
<https://www.toho-gakuen.jp/donation>



東邦学園100周年事業

WE ARE TOHO
 はばたき 新時代へ — 東邦学園100周年

高校運動施設の快適化

『高校グラウンドとテニスコートの人工芝化』は2021年3月に完了しています。水はけがよく、降雨直後の利用も可能なので体育の授業、学校行事を計画する上でも、大変使いやすいグラウンドになりました。高校生が使用していない時には、愛知東邦大学のクラブ・サークル活動も利用しています。2023年3月には高校美術科アトリエ「創作棟」を建設しました。2024年8月には体育館の冷房化も完了しています。



TOHO Global Initiative

高校は2025年度から普通科国際探究コースを世界探究科に格上げしました。探究的な学びと語学教育とを兼ね備えたこの学科では、生徒がそれぞれ社会的な問題、地球規模の課題を設定し、自ら探した学外の専門家の指導も仰ぎながら調査・研究を行い、打開策・解決策を探っていきます。

スポーツ・文化活動の強化

高校・大学それぞれの野球、サッカー、TOHOマーチングバンドを「学園のブランド」として強化します。さらには地域との連携による学生の学びの場を創出し、スポーツ・健康づくりの諸活動を通じて、地域社会とつながる学園の姿を示します。



寄付金に対する免税措置

このご寄付は、特定公益増進法人への寄付として、所得税法(個人)や法人税法(法人)上の優遇措置(寄付金控除または損金算入)を受けることができます。

◆個人の皆様

確定申告の際、「税額控除制度」または「所得控除制度」から免税効果の高い制度を選択し、税の還付を受けることができます。

(1) 税額控除制度

寄付金額から2千円(税額控除額)を差し引いた額の40%が税額控除対象額になります(総所得金額等の25%が限度)。

(寄付金額 - 2千円) × 40% = 減税額

(2) 所得控除制度

寄付金額から2千円を差し引いた金額が所得金額から控除できる制度です(総所得金額等の40%が限度)。

(寄付金額 - 2千円) × 所得税率 = 減税額

◆法人の皆様

【受配者指定寄付金】

日本私立学校振興・共済事業団(以下「私学事業団」)を通じて法人様が指定した学校法人へ寄付をいただく「受配者指定寄付金」制度(決算時に寄付金の全額を損金算入できます)および特定寄付金(一般寄付金の損金算入限度額の別枠として損金に算入されます)のお取り扱いをいたします。

※詳しくは「新たな百年事務局・広報室」までお問い合わせください。

学校法人東邦学園 新たな百年事務局・広報室
 〒465-8515 名古屋市名東区平和が丘3-11
 TEL: 052-782-1954 FAX: 052-781-0931
 E-mail: bokin@aichi-toho.ac.jp



For your secure days

セグドム株式会社

<https://www.secdom.com>

WOODY LIFE

木のやさしさとぬくもりを感じる生活

株式会社 天野木巧

代表取締役 池田憲幸

〒490-1403 愛知県弥富市鳥ヶ地1丁目208
 TEL (0567) 52-0802 fax (0567) 52-0441

OA機器 事務用機器販売
 システムサポート株式会社

代表取締役 東 埜 博

〒463-0011
 名古屋市守山区小幡5丁目9番19号
 TEL (052) 792-9956 FAX (052) 792-9959

EZIX

株式会社エジックス

代表取締役 高山 仁 惣 (高23回)

〒451-0045
 名古屋市西区名駅1-1-17 名駅ダイヤメイツビル11F
 TEL 050-5491-5762 MAIL info@ezix-inc.com
 URL <http://www.ezix-inc.com/>

医療情報支援システム「ホスピット」で医療現場をサポートします

令和6年度 東邦会決算報告

令和6年4月1日～令和7年3月31日

単位：円

東邦会会員数	
(令和7年3月31日現在)	
・商業学校	3,835名
・東邦夜間商業高等学校	464名
・東邦中学校	797名
・東邦高等学校定時制課程	205名
・東邦高等学校	45,209名
（うち赤萩時代	10,721名）
（ // 平和が丘	34,488名）
合計	50,510名

在校生生徒数	
(令和7年4月1日現在)	
・普通科	1,665名
（普通コース(文選・理選含む)	1,369名）
（文理特進コース	103名）
（人間健康コース	103名）
（国際探求コース	90名）
・世界探究科	26名
・美術科	138名
合計	1,829名

収入の部			支出の部		
項目	予算額	決算額	項目	予算額	決算額
前年度繰越金	21,814,790	21,814,790	会議費	300,000	240,250
年会費	2,000,000	1,533,000	代議員会費	1,500,000	1,202,176
入会金	10,950,000	10,875,000	旅費	100,000	0
広告代	960,000	940,000	慶弔費	200,000	198,314
パナー広告代	144,000	144,000	部活動激励金	500,000	245,000
寄付金	0	418,404	生徒会への援助金	300,000	300,000
雑収入	10,000	4,224	会報制作発行費	1,500,000	1,302,180
未収入金	0	0	会報発送費	2,100,000	2,205,026
100周年記念事業積立金繰戻し金	3,000,000	3,000,000	通信費	100,000	65,033
			学校奨学金の援助	1,000,000	1,000,000
			卒業記念品代	1,200,000	1,294,883
			ホームページクレジット決済代行費	70,000	66,560
			ホームページ管理費	200,000	184,800
			事務費	100,000	146,186
			人件費	1,600,000	1,584,000
			支部会援助金	300,000	0
			支部長会開催金	100,000	0
			振込手数料	150,000	66,602
			予備費	500,000	0
			100周年記念事業学園寄付追加金	3,000,000	3,000,000
			105周年記念事業積立金	1,000,000	1,000,000
			修正損	0	0
			小計	15,820,000	14,101,010
			次年度繰越金	23,058,790	24,628,408
合計	38,878,790	38,729,418	合計	38,878,790	38,729,418

105周年記念事業積立金		内訳	
100周年残金	617,810円	郵便振替口座	7,657円
令和5年度	2,000,000円	岡崎信用金庫	7,099,489円
令和6年度	1,000,000円	豊田信用金庫	4,039,194円
合計	3,617,810円	三菱UFJ銀行	17,099,878円
	(三菱UFJ銀行普通預金に積立)	合計	28,246,218円



戦後八十年

様々な視点で

平和を考える機会に

理事長 榊直樹

昨年度の「東邦の和」では、「『なごや平和の日』制定 生徒らの願いが市政を動かす」という見出しで、生徒会を中心にした名古屋空襲慰霊の日制定を求めてきた運動が、一つの裏りを結んだと紹介しました。私たちが毎年、「慰霊の日」の催しを開いて、昭和十九年十二月十三日に三菱重工名古屋発動機製作所で米軍の爆撃によって亡くなられた東邦商業学校の生徒十八名と先生二名の犠牲を悼んできたこと、修学旅行では沖繩戦の痛ましい歴史を学ぶなど、平和教育を積み重ねてきたからでしょう。「戦後八十年」に当たる今年度号では、戦前・戦中にまで遡って、平和について異なる立場から考えて頂きたいと思えます。

慰霊の日も沖繩戦のことも、戦争による被害者の立場から捉えがちです。ですが、十五年続いた(続けた)アジア太平洋戦争を、一方の側に立って見ているだけではいけません。私には母方を見ていくと、学園を創設した下出民義氏が曾祖父、長男義雄氏(初代理事長、校長も歴任)は祖父に当たります。進んで触れたいはありますが「戦争の加害側」と見られていたことにも、目を向ける必要があると考えます。

私財を東邦商業学校に投じて

いた下出家は、最大の収入を、オーナーの立場で経営してきた大同製鋼(現在は大同特殊鋼に発展)から得ていました。この大同製鋼には日本の大半の工場と同じく、軍需工場として戦争遂行に関わっていた時期があったのです。当時は東条英機氏ら軍首脳が来訪する重要な企業でした。大同の活況は、軍事行動を伴う日本の「中国大陸進出」がもたらしたと、当時の発行誌は紹介しています。その大陸進出は、中華民国さらに国際聯盟から、侵略だと強く非難された行動でした。



さらに、民義氏は貴族院議員、日米開戦後は義雄氏が大政翼賛会の衆議院議員に選ばれ、戦争の旗振り側にいました。敵味方の兵士と国民が血を流し合った十五年間、戦争を通じて得た収入が、部分的・間接的にせよ、当時の学園を支えていた側面も見逃すわけにはいきません。さて、平和教育の象徴である「平和の碑」は、戦後五十年を機に、当時の下出保雄理事長が爆撃痕を刻む工場の一部を譲り受けたものでした。実は保雄氏は、戦時中海軍に入隊して戦地へ赴く運命でありながら、健康を害したとして除隊を命じられていました。戦後、甥に当たる私は自宅が地続きで我が子のように接してもらいましたが、戦時中の思い出は一言も聞きませんでした。しかし、三菱重工の慰霊式に欠かさず参列し、戦争遺産を平和の碑として据えた姿勢には、同世代が戦地へ飛び立つ中で生き残った人として強く誓った胸の内が伺われると思うのです。後世の若者を再び戦地に向かわせることがあつては決してならない——と。

「東邦会」会員様はプリント料金 10% OFF

OKUMURA PHOTO STUDIO SINCE 1887

本店スタジオ 愛知県名古屋市中区錦3-22-29
☎052-951-1001 営業時間:10:00~18:00 定休日:水・木・金曜定休

ガーデンスタジオ 愛知県名古屋市中区錦山2-513
☎052-808-2001 営業時間:10:00~18:00 定休日:水・木・金曜定休

NSG 警備保障 中日本警備株式会社

〒460-0022 名古屋市中区金山2丁目1番24号
電話(052)322-3291(代) FAX(052)322-3110

あいちとうほうだいがくない

へいわがおかほいくえん

0~2歳までの小さな保育園です。下記までお問い合わせください。
〒465-0097 名古屋市名東区平和が丘3-11 愛知東邦大学内
TEL052-688-7444 E-mail:holku@epro-co.com

MITSUBOSHI PRINTING 三星印刷

本社 / 〒451-0041 名古屋市西区幅下1-1-12
TEL 052-571-0796 FAX 052-561-8517

守山工場 / 〒463-0079 名古屋市守山区幸心1-1218
(有限会社中部オフ印刷内)

明るい住まい 明るい未来の お手伝い

MIYACHI CONSTRUCTION Co., Ltd. 宮地建設 有限会社

代表取締役 宮地 和徳 (高29回卒)
名古屋市守山区大谷町1-23
TEL (052) 791-8830 FAX (052) 791-8233
http://www.miyachikensetsu.com

御菓子処 餅屋文蔵本店

石塚 真人 (高13回卒) 石塚 慎吾 (高40回卒)

【第15代 餅屋文蔵の店】
〒456-0005 名古屋市熱田区池内町5番12号
TEL (052) 884-0080
URL http://www.mochibun.co.jp

【本店】
〒457-0853 名古屋市南区豊2丁目36-24
TEL (052) 691-5271 FAX (052) 691-5273

年会費の納入をお願いします。 年会費 3,000円

同窓会は同窓生の皆様方から納入いただく年会費によって維持されております。同窓会が継続的に独自の企画を運営するためにも、右記の方法での年会費納入をお願いいたします。

同封の振込用紙をご利用ください。コンビニエンスストアほか、ゆうちょ銀行・郵便局でもお手続きが可能です。ホームページのマイページからもクレジットカードで年会費を納入していただけます。

高42 / H 3 卒	高41 / H 2 卒	高40 / H元 卒	高39 / S 63 卒	高38 / S 62 卒	高37 / S 61 卒	高36 / S 60 卒	高35 / S 59 卒	高34 / S 58 卒	高33 / S 57 卒	高32 / S 56 卒	高31 / S 55 卒
熊本亮、瀧地香理(安藤)、浅井貴光	吉次夏絵(田中)、加藤由美(吉田)、水野映里香(坪井)、西村美保(宮田)、宮崎雄一郎、高橋圭子、安藤有希子	梅村恵美(吉川)、瀧一人	石塚慎吾、富永慎治	加治屋秀政、寺浦雅彦、五藤英晴、辻知宏	古野達也、村瀬智子(原)、村瀬貞律、近藤貴徳、辻井孝二、石本淳一、岩村康之、稲垣憲二、天野百合、間瀬力、不破直行	三ツ森文治、上石勝広、山中毅、佐々木勉、井島規夫(則夫)	堀田時弘、柴田篤伺、安藤隆典、宮村雅一、上田常徳、長尾克哉、加藤峰明、増田貴治、前田耕司	船水昭宏、西手保、加藤寛隆、石井悟、村瀬裕之	齋藤周一、花井秀人	村上健志、安田忠史、梶田博文、水田康夫、大曾根修	渡邊素幸、山田鋭治、鈴木一人、高桑茂樹、齋藤啓介(肇)、岩野正行、貝沼直幸、小林健彦

高61 / H 22 卒	高60 / H 21 卒	高59 / H 20 卒	高58 / H 19 卒	高57 / H 18 卒	高56 / H 17 卒	高55 / H 16 卒	高54 / H 15 卒	高53 / H 14 卒	高52 / H 13 卒	高51 / H 12 卒	高50 / H 11 卒	高49 / H 10 卒	高48 / H 9 卒	高47 / H 8 卒	高46 / H 7 卒	高45 / H 6 卒	高44 / H 5 卒	高43 / H 4 卒		
二村智代、矢崎拓、大西愛乃	加藤佳子、山田祐輔、芝純平、松崎孝夫、武藤啓介、伊藤綾子、三輪彩奈、柳生明日香	前橋瞳	安井郁真、亀井正弥、酒井杏子	木下達生、藤野頼貴、戸田利加	小栗浩揮、馬場ゆり(塚田)	中村健太郎	加藤広士、戸田明由美、岩本寛之、石川美紗子(野村)	岡田祐	長峰明香(川口)、笹尾美紀(平井)、山口達也	谷翔馬、朝倉彩(祖父江)	大鐘亮、松村綾野(若林)	池田暁生、木村雄亮	志水和美、宮本雅志、吉村正樹	漸井佑美子、林道仁、上田幸伸	伊藤保憲、貫名正樹、渡邊藍子(岡田)	浅井仁、林栄治、渡辺忠義	花井康成	白谷峰人、郡佳代子(浅井)、荻果高英、遠藤真美、佐藤良江、増田裕二	高田幸子、佐々木友子(安藤)、遠藤真美、佐藤良江、増田裕二	遠藤愛(中島)、上田マキ、六信洋二、田中香織、井部美智代(鷲)

高75 / R 6 卒	高74 / R 5 卒	高73 / R 4 卒	高72 / R 3 卒	高71 / R 2 卒	高70 / H 31 卒	高69 / H 30 卒	高68 / H 29 卒	高67 / H 28 卒	高66 / H 27 卒	高65 / H 26 卒	高64 / H 25 卒	高63 / H 24 卒	高62 / H 23 卒	
吉田結香	平片会理、松岡素美礼、荒島健太、渡邊一誠、藤田悠矢、安藤ひまわり、寺西知鶴、柴田芭奈、武村珀我	坪井風汰、羽田野成琉、伊藤浩、鎌形啓史、山盛綾花、澁谷明日香、照屋雄人、古瀬伊織、渡邊涼介、渡邊こころ、藤森真菜	佐藤龍人、藤好昂哉、吉納翼、山田航大、南花奈、西出陽佑、林泰成、佐々木琴里	福田深夏、菱田啓介、館本りしゅら、鈴木孝侑、山口智生、多々英宏	林琢真	杉本瑚子、葛本健真、秋山愛斗、山本依里、武藤巧、木本慎太郎	林大智、赤塚慎平、村瀬満菜美、佐藤遼馬	大森夏希	服部大也、島原ひかる、岩本理志、江島辰哉、堀田佳男、堀田将男、峰洗平	川村史織(加藤)、三倉進、安田隼大	堀川智代、堀田真未、代田勲識	水野雄太、高橋歩陸、服部将大	毛利脩平、秦崇倫、浅井宏之、岩本薫	山田琴絵、高野凌輔、中村ゆかり(奥田)

令和6年度 年会費のお知らせ

ありがとうございます

年会費納入者一覧

令和6年4月1日から令和7年3月31日までに会費を頂戴した方々を掲載しております

高12 / S 36 卒	高11 / S 35 卒	高10 / S 34 卒	高9 / S 33 卒	高8 / S 32 卒	高7 / S 31 卒	高6 / S 30 卒	高5 / S 29 卒	高4 / S 28 卒	高3 / S 27 卒	高2 / S 26 卒	中1 / S 24 卒	商21 / S 23 卒	商19 / S 20 卒
山口貴弘、石川公、酒井敏行	岡地昭、大堀道之、野村勲、水野勉、今村邦男、佐野孝一、伊藤日出男、山口貴弘	近藤絃司、志知輝男、市川弘之、菊谷三郎、久野豊彦、富田俊彦、重岡秀明、原敏之、野村生男、尾関政弘、土岐孝之、室田卓史、近藤俊和	西垣忍(布目)、浦野達朗、舟橋貞夫、渡辺昭彦、酒井浩二、石黒茂雄(安藤)、西垣勝司、小川雅庸、船橋勇夫、水野雪男、伊藤巖、吉田建一、桜井正忠	奥村健五、石川猛二、桜井婦佐夫、浅井讓、森部才兵、内田勝美(畑中)	北川優、佐々博、酒井兼彦、天野照夫	臼田友久	村井邦久	杉原璋彦、宮地吉男、近藤茂、神谷利幸(酒井)、成田通庸(通康)	岩越英三	安田禎男	石丸進	松原正行、鵜淵幸彦	岡島貞一

高21 / S 45 卒	高20 / S 44 卒	高19 / S 43 卒	高18 / S 42 卒	高17 / S 41 卒	高16 / S 40 卒	高15 / S 39 卒	高14 / S 38 卒	高13 / S 37 卒
小川良徳、桔川幸博	園井章夫、大森薫、大田秀逸、山内隆嗣、安井一行、平田明光、川口満永、熊田英明	藤田孝、武田正夫、岡田茂敬、杉本三平(安田)、山田恭正、大町良男、奥村茂雄、奥村博史、松本伸雄、吉川昭善(立松)、成田清治、村瀬秀和、富田一生、小出正峰、寺本新一	江尻晴己、長繩典夫、杉江統孝、三岡成人(小野内)、石黒由高、金子誠、小川伸夫、佐藤薫夫、長谷部澄夫	深谷信幸、米津成和、丹羽繁、横井芳之、鈴木春雄、舟沢新一、今井功、野田博、外山利幸、齋藤一夫、平松正行、河合重義、中川長生、日比野快男	浜島昭之、森隆、太田昭人、水野時廣、池田成明、北谷進(橋原)、三輪教夫、柴田文夫、松井彌太(弥太)、加賀円造、中川善彦	内田修三、牧野健三、宇佐美政則、杉村賢三、佐藤文彦、筒井隆彌、水野弘、神谷昌宏、河合征夫、荒川春雄、廣田徹	堀場茂夫、日置孝憲、小山孝、成田勝、横井隆、大竹昌、山本義太郎、大河内吉行、近藤晃弘、岩田茂雄	中路正郎、神保治通、竹内正光、高尾実、浅野佳伸、松川武司、山田四方治、渡辺守、上野秀夫、加藤啄也、柴田武彦、石塚真人、佐野光生、龍本幸太郎、小島巖

高30 / S 54 卒	高29 / S 53 卒	高28 / S 52 卒	高27 / S 51 卒	高26 / S 50 卒	高25 / S 49 卒	高24 / S 48 卒	高23 / S 47 卒	高22 / S 46 卒
今枝憲彦	小出基義、山田武、富田和彦、堺和弘	丸山正洋、岩月雅章、浅井稔、鈴木匡幸、岡田久、向井博、柴田豊、中村豊、松田陸、徐哲均	櫻井秀樹、川本良一、大島正秀、荻野秀仁、村上泰助、佐藤裕	加藤清久(故人)、望月隆雄、下間修、佐野良昭、末松美喜雄、恒本桂司、加藤豊、山越良治、佐藤寿郎、大橋伸治、水野正夫、神谷昭範(勇夫)、伊佐治憲一、森井勝也	成田武、岩瀬一志、鈴木正輝、戸田幸男、藤井雅之、伊藤豪誌(豪)、福田鐘治、平岩一郎、中根定俊、富田典男、荒川広一	佐藤吉郎、近藤時弘、佐々木清敏、鶴田直人、山田喜八郎、水野尚武、寺島多岐夫	青木均、小島良信、大倉正幸、渡辺正、久米晃、水野孝治、近藤賢治、安江裕尚(鈴木)、浅井義之、平川昭文、石川悟、神田正浩、山田良雄	後藤輝光、森真澄、小川豊、八神利夫、中村公一、犬飼芳範、小崎弘、野田高史、阿部憲武、桶野博孝、柴田宗一郎、高橋昇、朝井和晴、真野博文

寄付金お礼・ご報告

令和6年度は、39名の方々から総額418,404円のご寄付をいただきました。心よりお礼申し上げます。
母校支援のための資金として活用させていただきます。

寄付金納入の方法について

東邦会事務局 ☎052-781-1561

同封の振込用紙はコンビニでお手続きの場合、年会費3,000円専用になっておりますが、ゆうちょ銀行・郵便局でのお振込みの場合は、金額を変更していただけます。
年会費との差額をご寄付いただけたものとさせていただきます。ご不明な点は事務局までご連絡ください。
ホームページのマイページからもクレジットカードで寄付金を納入していただけます。

高63 / H 24 / 卒	高60 / H 21 / 卒	高57 / H 18 / 卒	高52 / H 13 / 卒	高42 / H 3 / 卒	高41 / H 2 / 卒	高39 / S 63 / 卒	高38 / S 62 / 卒	高37 / S 61 / 卒	高36 / S 60 / 卒	高32 / S 56 / 卒	高29 / S 53 / 卒	高25 / S 49 / 卒	高23 / S 47 / 卒	高22 / S 46 / 卒	高19 / S 43 / 卒	高18 / S 42 / 卒	高17 / S 41 / 卒	高16 / S 40 / 卒	高14 / S 38 / 卒	高13 / S 37 / 卒	高12 / S 36 / 卒	高9 / S 33 / 卒	高6 / S 30 / 卒	高4 / S 28 / 卒	商19 / S 20 / 卒		
秦崇倫	伊藤綾子、加藤佳子	山田祐輔、武藤啓介	木下達生	谷翔馬	水野映里香(坪井)	松澤美紀	近藤貴徳、石本淳一、高校39回同期会一同	寺浦雅彦	井島規夫(則夫)	鈴木一輝	村上健志	宮地和徳	成田武	石川悟	青木均、小島良信、近藤賢治、平川昭文	成田清治	森真澄	三岡成人(小野内)、長谷部澄夫	深谷信幸、中川長生	松井彌太(弥太)	日置孝憲、小山孝	加藤啄也	野村勲	西垣勝司、伊藤巖	白田友久	成田通庸(通康)	岡島貞一

編集後記

令和7年10月
広報委員会委員長 兼松暁子

近年の東邦高校は、ICT教育の充実や部活動での全国的な活躍など、時代に即した進化を遂げています。校内に息づく前向きなエネルギーに、卒業生として頼もしさを感じます。

本号では、そんな母校の精神を胸に、それぞれの分野で挑戦を続ける卒業生の姿を取り上げました。その歩みは、まさに「東邦の和」が紡ぐ力強い証です。

誌面づくりにご協力いただいた皆さま、そしていつも温かく支えてくださる先輩・後輩の皆さまに、心より感謝申し上げます。

W e a r e T O H O O !



エグチホールディングスグループは、2015年に国連にて採択された「SDGs (Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標))」を、世界を牽引する重要な目標と捉え、豊かな社会と経済的発展の実現に積極的に取り組んでまいります。

カンボジア・ジャパハート
こども医療センターへの太陽光発電所の寄贈

カンボジアのジャパハートこども医療センター(カンボジアアカンダール州ウドン地区)に太陽光発電設備を寄贈致しました。

クリーンなエネルギーを作り出す
太陽光発電事業

太陽光発電所を自社にて所有し年間11,776 tのCO2を削減しております。

宮古島で
ゼロエネルギーリゾート

2024年2月に宮古島市に開業したクラス・ザ・ファーストは、日本初の「空から水を作り出す」ゼロエネルギーリゾートとして、実質エネルギー消費量ゼロを目指しております。

自社屋上に太陽光発電パネルを設置
発電した電気をすべて自家消費

本社屋上に太陽光パネルを設置し、発電した電気をすべて自家消費をしております。

GROUP ENTERPRISE

EGUCHI HOLDINGS GROUP | 尾方美香 (高40回卒) | 江口勝義 (高41回卒)

本社: 〒463-0021 名古屋市守山区大森四丁目1002番地 | 電話: 0120-16-3010 | FAX: 0120-16-3070

宮古島事務所: 〒906-0012 沖縄県宮古島市平良西屋1890-1 | 月～金曜日(土/日/祝日を除く) 9:00～18:00

私たちは確かな技術と知識で「ものづくり」の現場をサポートします。

～エレックヒシキ㈱は「高精度」・「高品位」の商品の提供を通じて地域の製造業の躍進を応援しています～

プログラマブルコントローラ

ACサーボ

ブレーカ

表示器タッチパネル

ビジョンセンサ

ロボット

LED照明器具

三菱電機 代理店 新電元工業 特約店
エレックヒシキ株式会社
 〒465-8651 名古屋市名東区一社四丁目22番地
 電話 (052) 702-2021 FAX (052) 704-3131